



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月14日

上場会社名 児玉化学工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4222 URL http://kodama-chemical.co.jp/  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)齋木 均  
 問合せ先責任者 (役職名)経理財務部長 (氏名)大洞 豪将 (TEL)03(3279)4900  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	8,925	△0.8	30	—	△74	—	△241	—
2019年3月期第2四半期	8,995	△3.5	△233	—	△324	—	△382	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △196百万円 (—%) 2019年3月期第2四半期 △425百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	△62.49	—
2019年3月期第2四半期	△104.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	14,149	885	0.8
2019年3月期	14,643	1,074	2.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 107百万円 2019年3月期 334百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	0	0
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,700	△5.8	300	—	170	—	50	—	12.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期2Q	3,952,941株	2019年3月期	3,952,941株
2020年3月期2Q	79,067株	2019年3月期	92,491株
2020年3月期2Q	3,866,832株	2019年3月期2Q	3,648,343株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 8
(会計方針の変更)	P. 8
(会計上の見積りの変更)	P. 8
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産の弱さが続いており、激化する米中貿易摩擦を背景とする海外経済の低迷や自然災害発生の影響等もあり、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループにおきましては、国内の自動車部品事業では、中東向け乗用車及びトラックが堅調であり、三次元加飾工法による乗用車部品も依然堅調に推移し、また、新たに策定した再建中期計画の事業構造改革による成果が第2四半期から見え始めたことにより収益が増加いたしました。国内の住宅設備・冷機部品事業では、新規住宅着工並びにリフォーム需要とも低調に推移しておりますが、10月からの消費税増税前の駆け込み需要により夏以降の注文が増加したため、売上高の増加により収益が改善しました。海外に於いては、ASEAN地域において一部で景気の回復基調が見え始め、業績が回復しつつあり、特にタイの経済が堅調に推移いたしました。経済が減速している中国での事業は引き続き販売が低迷しました。このような状況の中、当社は、2019年度を初年度とする3カ年の再建中期計画を策定し、事業構造改革を推進しており、当第2四半期においては、概ね当初計画通り推移しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,925百万円(前年同四半期比0.8%減)と減収となり、営業利益は30百万円(前年同四半期は営業損失233百万円)、経常損失は74百万円(前年同四半期は経常損失324百万円)、また、一時的な事業構造改革費用123百万円計上したため、税金等調整前四半期純損失は197百万円(前年同四半期は税金等調整前四半期純損失324百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は241百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失382百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 自動車部品事業

当事業の国内自動車部門におきましては、主に三次元加飾工法やガラス繊維マットプレス新工法等による新製品及び中東向け乗用車部品が堅調に推移いたしました。また、海外自動車部門におきましては、タイのECHO AUTOPARTS (THAILAND) CO., LTD. では自動車生産が回復基調になりつつあり、売上高は増加しました。

この結果、売上高は5,494百万円(前年同四半期比0.5%増)、セグメント利益は173百万円(前年同四半期はセグメント損失13百万円)となりました。

#### ② 住宅設備・冷機部品事業

当事業の国内住宅設備部門におきましては、10月からの消費税増税前の駆け込み需要により夏以降の注文が増加したため、売上高は増加いたしました。しかしながら、海外冷機部品部門におきましては、タイのTHAI KODAMA CO., LTD. は輸出向け冷蔵庫等の需要減、ベトナムのTHAIKODAMA (VIETNAM) CO., LTD. も同様に冷蔵庫関係の需要が大きく落込み、売上高は減少いたしました。中国の無錫普拉那塑膠有限公司では、米中貿易摩擦の影響により中国市場が冷え込み、中国市場向けの製品が大きく落ち込んだ結果、売上高は大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は3,104百万円(前年同四半期比4.1%減)、セグメント利益は59百万円(前年同四半期比522.6%増)となりました。

#### ③ エンターテイメント事業

当事業におきましては、ゲームソフトパッケージの需要が増加したことにより、売上高は増加しました。

この結果、売上高は327百万円(前年同四半期比10.9%増)、セグメント利益は23百万円(前年同四半期比1160.7%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は14,149百万円となり、前連結会計年度末に比べ493百万円の減少となりました。

資産では、流動資産が現金及び預金の減少等により576百万円減少し、固定資産が有形固定資産の増加等で82百万円増加しました。

負債では、流動負債が未払金の増加等により68百万円増加し、固定負債が長期借入金の減少等で373百万円減少しました。

純資産では、利益剰余金の減少等により189百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、長期化する米中貿易摩擦等の影響による世界経済の減速及び消費税増税前の駆け込み需要の反動も予想されます。そうした状況下、当社は事業構造改革を推進し概ね計画通り進捗しておりますが、今後も外部のコンサルタント等の構造改革費用の発生が予想されます。しかしながら、その費用は現在精査中であり現時点でその金額を見積る事は困難であります。従いまして、現時点におきましては、2019年5月15日公表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,739,050	1,072,711
受取手形及び売掛金	3,102,562	3,088,403
商品及び製品	454,312	427,602
仕掛品	277,755	259,782
原材料及び貯蔵品	848,340	899,906
その他	129,339	226,806
貸倒引当金	△10,342	△10,613
流動資産合計	6,541,018	5,964,600
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,967,484	6,167,771
減価償却累計額及び減損損失累計額	△3,558,873	△3,671,498
建物及び構築物(純額)	2,408,611	2,496,273
機械装置及び運搬具	7,831,538	8,206,983
減価償却累計額及び減損損失累計額	△6,564,987	△6,757,230
機械装置及び運搬具(純額)	1,266,550	1,449,752
土地	2,944,278	2,961,472
リース資産	858,717	866,191
減価償却累計額	△388,172	△436,159
リース資産(純額)	470,544	430,031
建設仮勘定	193,209	91,229
その他	2,937,001	3,036,896
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,496,160	△2,694,383
その他(純額)	440,841	342,512
有形固定資産合計	7,724,036	7,771,273
無形固定資産		
その他	70,158	61,413
無形固定資産合計	70,158	61,413
投資その他の資産		
投資有価証券	238,634	233,717
長期貸付金	113,650	113,650
固定化営業債権	18,990	18,990
繰延税金資産	23,159	55,420
その他	106,941	122,517
貸倒引当金	△193,139	△192,037
投資その他の資産合計	308,236	352,258
固定資産合計	8,102,430	8,184,945
資産合計	14,643,449	14,149,545

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,395,914	3,093,303
短期借入金	5,896,463	5,947,638
リース債務	109,574	73,823
未払法人税等	33,947	38,388
賞与引当金	37,422	140,199
その他	787,540	1,036,503
流動負債合計	10,260,862	10,329,857
固定負債		
長期借入金	2,547,782	2,129,905
リース債務	197,150	215,892
繰延税金負債	52,128	58,341
株式給付引当金	16,052	7,416
退職給付に係る負債	482,072	510,002
その他	12,700	12,700
固定負債合計	3,307,885	2,934,259
負債合計	13,568,748	13,264,116
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,343,856	3,343,856
資本剰余金	285,167	285,167
利益剰余金	△3,262,907	△3,504,526
自己株式	△79,245	△66,467
株主資本合計	286,871	58,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,551	139
繰延ヘッジ損益	△0	△16
為替換算調整勘定	12,156	23,260
退職給付に係る調整累計額	31,734	25,833
その他の包括利益累計額合計	47,442	49,217
新株予約権	5,666	—
非支配株主持分	734,720	778,180
純資産合計	1,074,700	885,429
負債純資産合計	14,643,449	14,149,545

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	8,995,871	8,925,969
売上原価	8,173,443	7,867,874
売上総利益	822,428	1,058,094
販売費及び一般管理費	1,055,644	1,027,431
営業利益又は営業損失(△)	△233,216	30,663
営業外収益		
受取利息	4,940	7,621
受取配当金	3,837	4,245
固定資産売却益	16,377	9,786
助成金収入	18,298	—
その他	16,191	13,738
営業外収益合計	59,645	35,390
営業外費用		
支払利息	102,872	87,026
支払手数料	12,627	9,906
為替差損	8,765	15,469
その他	26,751	27,697
営業外費用合計	151,016	140,099
経常損失(△)	△324,587	△74,044
特別損失		
事業構造改善費用	—	123,355
特別損失合計	—	123,355
税金等調整前四半期純損失(△)	△324,587	△197,400
法人税、住民税及び事業税	11,456	35,433
過年度法人税等	12,370	—
法人税等調整額	15,037	△27,622
法人税等合計	38,864	7,810
四半期純損失(△)	△363,452	△205,211
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,676	36,407
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△382,128	△241,619

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純損失(△)	△363,452	△205,211
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△996	△3,411
繰延ヘッジ損益	△7	△16
為替換算調整勘定	△72,990	18,038
退職給付に係る調整額	11,674	△5,452
その他の包括利益合計	△62,320	9,157
四半期包括利益	△425,772	△196,053
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△421,098	△239,843
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,674	43,789

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2018年9月6日付発行の第三者割当による行使価額修正条項付第2回新株予約権の一部行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ35,872千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,274,041千円資本剰余金が215,352千円となっております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	自動車部品 事業	住宅設備・冷機部品 事業	エンターテイメント 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,465,116	3,235,893	294,861	8,995,871
セグメント間の内部 売上高又は振替高	67,135	171,176	—	238,312
計	5,532,252	3,407,070	294,861	9,234,184
セグメント利益又は損失(△)	△13,898	9,632	1,900	△2,365

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△2,365
全社費用(注)	△322,884
未実現損益調整額	693
その他の調整額	△32
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純損失(△)	△324,587

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	自動車部品 事業	住宅設備・冷機部品 事業	エンターテイメント 事業	
売上高				
外部顧客への売上高	5,494,538	3,104,338	327,091	8,925,969
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65,292	147,506	—	212,798
計	5,559,831	3,251,844	327,091	9,138,767
セグメント利益又は損失(△)	173,872	59,968	23,959	257,801

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	257,801
全社費用(注)	△447,792
未実現損益調整額	693
その他の調整額	△8,103
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純損失(△)	△197,400

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費、研究開発費及び事業構造改善費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。